

人口減少対策調査 特別委員会報告書

人口減少対策調査特別委員会では、最終の報告書をまとめた。

主な内容は次の通り。

人口の自然増に向けて

○時代にあった結婚の支援 多様な価値観を尊重しながらも、一人でも多くの若者が結婚に対する希望を持ち、適齢期に結婚に至ることができるよう流れを作り出していくことが必要であり、結婚への意識の醸成や出会いの場の創出、若者の経済的安定に取り組むことが求められる。

○切れ目ない妊娠・出産・子育ての支援 出生率の向上のためには、子育て世代包括支援センターを中心にライフステージごとのニーズに応じた多岐にわたる支援を切れ目なく展開することが必要であり、産後ケアの導入などに取り組むことが

求められる。
○地域における相談支援・サポート体制の強化 切れ目ない支援を人口減少対策の柱にしていくためには子育て世代包括支援センターの役割は重要であり、専任保健師の設置など人員強化の検討や、子育てサロンや関連団体との連携により地域拠点単位での効果的な支援の仕組みづくりに取り組むべきである。

若者や働く世代などの的を絞る、的に応じた対策を展開することが必要である。
○新たな人の流れを生み出す仕組みを作る 移住希望者が求める情報を官民一体となつて一元的に提供できる体制の構築が必要であるとともに、東京圏からの人口流入増加を目指す本市では、東京事務所設置による組織的なPR活動など有効な仕組みを調査研究し、早急に体制を整える必要がある。

また、身近な場所で妊娠・出産・子育てに関するきめ細かなサービスを受けられることは若い世代にとって魅力となることから、まちづくりと一体的に推進することが必要である。



人口の社会増に向けて

○ターゲットを特定した移住・定住策の推進 世代によって移住推進のための課題が異なるため、

今後に向けて

第6次市総合計画の策定が始まるが、人口減少局面の中で策定する初の計画となることから、本提言を踏まえ人口減少対策と地方創生を重要課題の一つに捉え、検討にあたることを望む。

スポーツ・文化振興 調査特別委員会 中間報告書

スポーツ・文化振興調査特別委員会では、中間報告書をまとめた。

文化振興の推進に向けて

第2次市文化振興基本計画を着実に推進するためには、歴史的な文化資源の保存・活用や、宇都宮ならではの文化資源に着目した都市の魅力づくりなど、課題を踏まえた施策展開が求められている。特に、市が有する文化資源を市内外へ積極的に情報発信し、観光振興に結び付けていく施策が期待されており、市内の文化施設や文化資源に関する情報を集約・発信する拠点施設をJR宇都宮駅周辺や中心市街地に整備し、来訪者が公共交通機関を利用して、各施設に立ち寄り、文化資源に触れることができる仕組み

づくりが必要である。
教育委員会の枠を超えた文化施設の展開

学校教育や文化財の保護などについては、引き続き教育委員会による積極的な施策展開が期待される。

一方で、さまざまな文化施策を着実かつ効果的に推進するためには、それぞれの施策目的に応じた組織横断的な対応が求められており、経済・まちづくり・都市整備の分野に関連の深い文化行政にかかる事務は市長部局で担うなど、効果的な行政運営がなされるよう、組織の見直しも含めて検討を行うべきである。



▲正副議長、各特別委員会の正副委員長が市長に報告書を提出

政治家の寄附禁止

公職選挙法の規定により、政治家が選挙区内の市民にお金や物などの寄附をすることは禁止されています(親族に対するものなどは除かれます)。主な事例は次のとおりです。

- お中元やお歳暮、葬式の花輪や供花、初盆のお供物などを贈ること
- 地域運動会などの各種行事に金品を贈ること など

また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。市民の皆様のご理解をお願いします。

市議会議場を見学してみませんか

宇都宮市議会では議会をより身近なものと感じていただくため、議場の見学を受け付けています。

夏休み中も見学できますので、希望される方は、事前にお問い合わせください。

議会事務局政策調査課 電話 (632) 2611